

令和8年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）
出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	一般社団法人 音楽芸術協会
公演団体名	和太鼓グループ彩 -sai- with 山中裕貴

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領4ページを御参照ください。

分野	種目
伝統芸能	歌舞伎・能楽・人形浄瑠璃・邦楽・邦舞・演芸

取り組み（②に該当する場合は○を付してください。）

該当	取り組み
○	①字幕や音声ガイダンス等を設置するだけでなく、障害のある子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み
○	②障害のある芸術家が活躍する取り組み

②に該当する場合、芸術家が抱える障害の種類

病名：心臓機能障害（ペースメーカー）

等級：1級

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分

該当	区分
○	«Pタイプ» 公演を中心とする企画
	«Wタイプ» ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として令和8年6月1日（月）～令和9年1月29日（金）まで

実施可能期間	○	全期間：令和8年6月1日～令和9年1月29日		※夏休み、年末年始を除く
		～	～	
		～	～	
		～	～	

連日公演の可否	可	←選択してください。
---------	---	------------

実施可能地域 ※実施可能な地域名の前に○を付してください。 (複数選択可)

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合は こちらに御入力ください。
○	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	いっぽんしゃだんほうじん おんがくげいじゅつきょうかい				
制作団体名	一般社団法人 音楽芸術協会				
代表者職／氏名	代表理事 斎英俊□				
制作団体所在地	〒 104-0061 東京都中央区銀座7丁目15-8 タウンハイツ銀座406□				
制作団体代表電話番号	03-6260-9896				
制作団体設立年月	2016 年 6 月				
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等			
	代表理事 斎英俊 理事 安達晶夫	会員の過半数の出席により、承認された芸術家 および舞台関係者。			
事務体制：事務（制作専任担当者の有無）	専任				
Webサイト等URL	https://maa.or.jp				
本事業担当者名	斎英俊	本件連絡先：電話番号	03-6260-9896		
メールアドレス	info@maa.or.jp				
経理処理等の監査担当の有無	有				
経理責任者名	斎英俊				

【公演団体について】

ふりがな	ワダイコグループサイ ウィズ ヤマナカユウキ
公演団体名	和太鼓グループ彩 -sai- with 山中裕貴
代表者職／氏名	代表/齋英俊
Webサイト等URL	https://wadaiko-sai.com/

特別支援学校等における活動実績や障害を持った芸術家の活動を拡げる公演等の活動実績

＜和太鼓グループ彩 -sai-＞

男性のみの和太鼓集団。世界40カ国2000回を越える演奏を活動を行い、「楽しいが響きわたる」をモットーに、和太鼓の圧倒的な迫力と響きを活かした、開放感溢れる楽しい時間を届けている。

近年では海外での公式文化交流事業にも多数招致され、伝統楽器、和太鼓の新しい可能性を発信すべく、多方面で活動している。

2019年 ラグビーワールドカップ2019™日本大会選手入場演奏（横浜会場）

東京国際フォーラム単独公演を皮切りにワールドツアー「SAI WORLD」を開催

2022年 NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」劇伴 レコーディング参加

2024年 日・トルコ外交関係樹立100周年記念公演に出演

2025年 メジャーリーグベースボール開幕戦にて選手入場演奏を務める

～特別支援学校等での公演活動実績～

【令和4年度】

・文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～

茨城県立境特別支援学校

・文化芸術による子供育成推進事業～ユニバーサル公演事業～

滋賀県立野洲養護学校・天理市立柳本小学校・仙台市立蒲町小学校・坂出市立松山小学校・横浜市立北山田小学校・一関市立一関東中学校・宗像市立河東小学校・多度津町立四箇小学校・広島市立狩小川小学校・琴平町立榎井小学校

【令和5年度】

文化芸術による子供育成推進事業

【巡回公演事業】

千葉県立松戸特別支援学校

【その他の公演活動実績】

東京2025デフリンピック 演奏予定

＜山中裕貴＞

kogakusyu翔メンバーとしてプロデビュー。舞太鼓あすか組のサポートメンバーとして国内外の公演に参加。2021年より和太鼓・篠笛奏者としてソロ活動を始動する。

自身の障害と向き合いながら、プロとしての活動を続け、「障がいと向き合い、歩み続けた夢への道」と題し、各地で講演活動も行う。

～特別支援学校等での公演活動実績～

特別支援学校：大阪府立東住吉支援学校（2019年）

学校公演実績：約15校

大阪府立東住吉高等学校、奈良県立添上高等学校、大阪府立金岡高等学校、香里ヌヴェール学院、姫路市立香寺中学校（ほか）

令和8年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演）
出演希望調査 No.2 (Pタイプ)

オレンジ色	入力必須項目です。		みどり色	選択必須項目です。	
制作団体名		一般社団法人 音楽芸術協会			
企画名		見て、聴いて、感じる、みんなで奏てる「和太鼓」の芸術鑑賞会			
主な対象学年 <small>※複数選択は可能ですが企画内容と適合が異なるようお願いします。</small>		<input type="radio"/> 小学校：低学年	<input type="radio"/> 小学校：中学校年	<input type="radio"/> 小学校：高学年	
		<input type="radio"/> 中学校・中等教育学校（前期課程）			
		<input type="radio"/> 特別支援：小学校部	<input type="radio"/> 特別支援：中学校部	<input type="radio"/> 特別支援：高等部	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安		1回の人数		回数	
ワークショップ		※ 3回まで		20人	3
本公演		※ 1校1回まで		500人	まで対応可
企画の動画等の資料		PW			
URL		https://youtu.be/lVYU3yyvBL4			
本公演について					
<p>日本を代表するプロ和太鼓集団「和太鼓グループ彩」と、障害を持ちながらもプロ和太鼓奏者として活動する、「山中裕貴」による公演です。</p> <p>まずは和太鼓をわかりやすく、楽しく学んでいただきます。和太鼓の「音」「動き」「振動」に着目し、どなたでも「聴覚的」「視覚的」「感覚的」に楽しむことができる体験型の公演をお届けします。講談・質問コーナーでは、障害を持ちながらも、プロ和太鼓奏者として活動する「山中裕貴」が自身の障害と向き合い、どう自身の描く夢の世界で活動してきたかについて、お話をいたします。和太鼓体験・発表会では、多くの太鼓や手持ちできる太鼓や移動式のうちわサイズの太鼓を用いることで、さまざまな特性を持つ子供たちが、直接和太鼓に触れていただくことが可能です。参加した生徒みんなが和太鼓に触ることができる時間を設けることで、子供たち“それぞれ”の感性や感覚を大切に致します。</p> <p>1 <大迫力の和太鼓！どなたでも楽しめる伝統楽器！> -大海祭 「一彩／作曲」・祭宴 【齋英俊／作曲】・楽器解説</p> <p>2 <藤笛・チャッパ・太太鼓の多様な和楽器の世界> -チャッパッパ 【塙見岳大／作曲】・駆け抜ける空 【酒井智彬／作曲】</p> <p>3 <みんなで奏でよう和太鼓体験・発表会> 会場全体で手拍子でリズムを刻む挑戦や、ワークショップの成果発表として演者と共に演じ、演目の発表会を行う参加型のプログラム。</p> <p>4 <講談/質問コーナー 山中裕貴講談「障がいと向き合い、歩み続けた夢への道」</p> <p>5 <プロの演奏を見て・聴いて・感じてみよう！> -音達-OTOAI- 【山中裕貴／作曲】・手拍子の和【齋英俊／作曲】</p> <p>アンコール<みんなで奏でる3・3・7拍子> ・手拍子の和【齋英俊／作曲】</p>					
原作／作曲		和太鼓グループ彩 -sai-・山中裕貴			
脚本		特になし			
演出／振付等		和太鼓グループ彩 -sai-・山中裕貴			
公演時間 (分)	著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有			
		<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる <small>(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無</small>			
60分					

演目概要	<p>世界で活躍するプロ和太鼓団「和太鼓グループ彩」と、障害を持ちながらもプロとして活動を行う和太鼓奏者「山中裕貴」が共演し、障害の有無を超えてアーティスト全員が力を合わせて、伝統楽器「和太鼓」の舞台を創り上げます。そして、自身の障害と向き合い、プロの世界でどう活動してきたのか。「山中裕貴」自身の言葉でお伝えします。体験では、多様な和太鼓を数多くお持ちすることで、参加者全員に和太鼓へと触れていただき、生徒"それぞれ"の感覚を大切に致します。</p> <p>1.<大迫力の和太鼓！どなたでも楽しめる伝統楽器！> 様々な種類の和太鼓を打ち鳴らし、その迫力を全員にお楽しみいただけます。客席に移動できる太鼓を用いることで、子どもたちの近くでも演奏します。その後、多様な和楽器を紹介し、自國の文化についても、紹介いたします。</p> <p>2.<縦笛・チャッパ・太鼓の多様な和楽器の世界> チャッパと呼ばれる金属楽器や縦笛・太鼓を伝統的な楽器やリズムで演奏し、多様な和楽器の世界や表現をご紹介します。</p> <p>3.<みんなで奏でよう和太鼓体験・発表会> 和太鼓の体験やワークショップの発表会を行います。体験について、移動式の手持ち型の太鼓をご用意しておりますので、さまざまな教育的ニーズをお持ちの方でも太鼓に触れていただくことができます。さらに演奏と共に演するワークショップの発表会を行い、みんなでリズムを奏でる楽しい参加型の音楽活動を行います。</p> <p>4.<講談・質問コーナー> 「山中裕貴」が「障がいと向き合い、歩み続けた夢への道」と題し講談、子どもたちからの質問にお答えします。</p> <p>5.<プロの演奏を見て・聴いて・感じてみよう！></p> <p>「山中裕貴」自分が手がけた楽曲を全員で演奏します。伝統的なリズムとアコロバットな動きが含まれており、視覚的・聴覚的・触覚でお楽しみいただける大迫力の演奏をお届けします。</p> <p>アンコール<みんなで奏でる3・3・7拍子> 縦笛の音色に合わせて、全員で「3・3・7拍子」のリズムに挑戦。音楽を全員で作っていく楽しさ、新しいことに挑戦する楽しさを全体で、共有します。</p> <p>※別添をご参照ください (時間や内容は、子どもたちの状態やご希望によって、調整可能です。)</p>																			
	<p>公演実施予定者 の編成 (1公演あたり)</p> <p>演者6名・舞台監督1名 必要に応じて、手話通訳者・音声ガイドを手配します。</p> <p>公演に当たり 必要な会場条件</p> <table border="1"> <tr> <td>舞台の設置場所</td> <td>教室</td> <td>○</td> <td>体育館</td> </tr> <tr> <td>舞台に必要な広さ</td> <td>間口7M 奥行4M 高さ3M</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源容量（主幹ブレーカー容量）</td> <td>100 A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・暗転の要否</td> <td>要</td> <td>○</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	舞台の設置場所	教室	○	体育館	舞台に必要な広さ	間口7M 奥行4M 高さ3M			電源容量（主幹ブレーカー容量）	100 A			・暗転の要否	要	○	不要	・その他		
舞台の設置場所	教室	○	体育館																	
舞台に必要な広さ	間口7M 奥行4M 高さ3M																			
電源容量（主幹ブレーカー容量）	100 A																			
・暗転の要否	要	○	不要																	
・その他																				

ワークショップについて

内容

全員が和太鼓に触れていただける体験活動を行います。

実施時期:公演の1ヶ月前～1週間前 回数:1回 体験時間:約45～60分(調整可能)

下記、内容となりますが、子どもたちの特性に合わせて、先生と議論の上、内容を確定させていただきます。

1 発問・和太鼓の演奏実演(3分)

「和太鼓はどのような音のする楽器なのか」という季問を投げかけた上で、演奏者が模範演奏を行います。

2 講義(5分) ※子どもたちの特性によっては、相談の上、割愛することもございます。

子供たちと演奏者のコミュニケーションから、会場全体で和太鼓の特徴を導き出します。

(→大きい音がした！ ピリピリ振動がきた！・ドンって聞こえた！)

和太鼓がなぜ現代まだ受け継がれてきたのか、子供たちが導き出した楽器の特徴と古くの和太鼓の用途の関連性から

文化的・歴史的背景を知っていただきます。

3 全員参加の体験活動(24分)

3-1. 初めての音出し(8分)

和太鼓の構成方・打ち方を解説した後、実際に子供たちが和太鼓の音出しに挑戦、和太鼓に興味を持っていただきます。

3-2. 和太鼓のリズムレッスン(8分)

伝統的な口伝法である「口唱歌」を用いてリズム遊びを行い、和太鼓で実際にリズムを演奏いただきます。

3-3. 和太鼓のアンサンブル(8分)

指揮者のない和太鼓演奏、アンサンブルの楽しさと難しさ、音と目線で音を合わせる、コミュニケーションの練習を行います。

※宮太鼓や締め太鼓に加え、移動式の手持ちの太鼓や軽い肩掛けの面が大きな太鼓を演奏が子どもたちの近くにお持ちします。座った状態や寝た状態でも、和太鼓に触れていただくことが可能です。

4 発表会(10分)

3-

3にて子供たちに覚えていただいたリズムは、伝統楽器「縦笛」の奏でるお祭り楽曲の旋律に合うようにできており、演奏者と子供たちの合奏で成果発表します。

体制

主指導者1名・補助者4名

(補助者は、太鼓を演奏するにあたっての子どもたちのサポートの他、手持ちの太鼓や肩掛けの太鼓を持ち、全員が太鼓に触れるよう巡回させていただきます。)

目的とする効果

和太鼓は、触ればすぐに演奏できることが、一番の魅力です。和太鼓体験では、さまざまな特性を持った生徒全員に実際の和太鼓に触れていただき、それぞれの感覚や感性で、実際に感じていただきます。そして、音色や音の響きを、直接実験から学んでいただきます。他の楽器では、なかなか演奏をすることが難しい子どもたちにおいても、和太鼓の特徴を活かし、音楽に親しみ、リズムを体感し、知り、楽しむことができます。また、和太鼓は体全体を使い音楽を奏でることから、自分を表現する音楽活動の楽しさを感じていただけます。

しかしながら、演奏する時に指揮者がいないことが和太鼓の難しさ。息使いや目線、言葉以外の手段で仲間と音を合わせ演奏する和太鼓を通じて、共に演奏する楽しさを体感していただきます。

最後は全員でお祭りの楽曲を演奏し、会場一体となる感動を分かち合います。

楽器の音を出すという「成功体験」や、リズムを奏で、自分を表現するといった子どもたちが「自分たちの力を感じ、発揮できたという実感」から、自分自身に少しでも肯定的なイメージを持つことできること目標としております。

企画全体について

当ユニバーサル公演を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。

企画のねらい

本公演の大きな特徴は、世界の第一線で活躍するプロ和太鼓奏者、そして障害をもつプロ和太鼓奏者が共演し、障害の有無を超えてアーティスト全員が力を合わせて一つの舞台を創り上げることです。目前で繰り広げられる大迫力のプロの和太鼓演奏は、子どもたちに「夢を持ち、挑戦することの大切さ」や「違いを認め合い、ともに創る喜び」を強く伝えます。

また、演奏のみならず、障害を持ちながらもプロの音楽家として活動を続けるメンバーの直接の言葉を届けてもらいます。自身の障害とどう向き合い、プロのアーティストの世界で演奏活動を続けてきたのか。夢を諦めることなく、追い続けられているのか。実際に歩んできた本人の言葉で直接伝えることで、子どもたちへの希望となります。

さらに、ワークショップでは、実際に太鼓の音を出すという「成功体験」や友達と協働しながら、音を奏でることで「音楽活動の楽しさ」を感じていただきます。楽器の特徴を活かすことで、障害を持つ子どもたちにとっても楽しみながら、十分に自身の力が発揮できる内容となっています。さらに、ワークショップで練習した演目を代表の子どもたちが本公演にて、演者と一緒に発表していただきます。皆の前で発表するという「成功体験」が「自己に対する肯定的なイメージ持つこと」に繋がります。

和太鼓を通じた「成功体験」や「楽しさ」は、学びへの意欲や文化への「興味・関心・親しみ」につながります。こうした体験が、生涯にわたって文化活動に取り組みきっかけとなることを願っています。そして、この体験を通して、子どもたちが「自分自身を信じる力」を育むことを願っています。

障害のある子供たちに鑑賞・体験してもらうために取り組む工夫	
<input type="radio"/>	視覚障害
音声情報によるサポート・和太鼓の聴覚的・触覚的な特徴を活用し、体験・鑑賞活動を行います。	
<input type="radio"/>	聴覚障害
手話通訳者を手配することにより、手話による説明を行います。和太鼓は、他の楽器よりも音量や振動が大きいため、視覚・触覚を最大限に活用し、体験・鑑賞活動を行います。	
<input type="radio"/>	肢体不自由
ワークショップの際には、身体の動きの状態や認知の特性を事前に打ち合わせさせていただき、内容を調整いたします。体験の際には、座った状態や寝た状態でも触れることができる手持ちの太鼓等に楽器を変更することでや補助者がつき、体験活動をサポートさせていただきます。	
<input type="radio"/>	病弱
当日の体調や治療により、参加が難しいことが考えられます。欠席の場合は、体験・公演と同じ内容の動画をお渡しする、zoomで繋ぐ、ワークショップと本公演で再び学校に行く場合は、楽器をお貸しするなど、先生と相談の上、柔軟に対応させていただきます。	
<input type="radio"/>	知的障害
特性を事前に打ち合わせさせていただき、子どもたちの特性をヒアリングの上で、子どもたちの認知しやすい言葉での実施や自由に叫ける時間などを集団行動が苦手な子どもへの配慮、また刺激に対して過敏な児童・生徒に対しては、教室を分けることや少人数での実施等、環境調整を柔軟に対応させていただきます。	
<input type="radio"/>	その他
和太鼓は大きな音が出ることから、聴覚過敏の子どもたちへの配慮を事前にご相談させていただきます。公演の際には、太鼓から距離を取った後方の鑑賞スペースなどの太鼓から距離を取った鑑賞スペース等を設けます。また、公演が始まる際には、大きな音が出ることをお伝えし、小さい音から始まるなどの音へ慣れる時間を設けるなど、相談の上、より多くの子どもたちに参加いただけるよう努めます。	
協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等及び団体内における専門員の配置等	
監修：小学校・中学校・高等学校の教諭一種免許状を取得している和太鼓グループ彩メンバー・障害を持ちながら、プロ和太鼓奏者として活躍する「山中裕貴」	
協力：公認心理師・臨床発達心理士	
佐藤翔子・協特別支援学校教諭専修免許状を取得している当財団の協力員 必要に応じて、手話通訳者・音声ガイドを手配します。	

No.2
演目概要

見て、聴いて、感じる、
みんなで奏でる「和太鼓」の芸術鑑賞会 実施の様子



別添2

はじめに

日本の太鼓「和太鼓」は日本の伝統的な打楽器です。太鼓は、時代に合わせ、様々な役割を担ってきました。時には、「情報伝達手段」として、時には、時間を見る時計として、時には、音楽を奏でる楽器としての役割を持ち、時代を超えて、人々に愛されてきました。

これから目の前で繰り広げられる和太鼓の演奏は、「組み太鼓」と言われるもので、約60年前に誕生した新しい演奏形式です。

日本各地に伝承される様々な和太鼓の奏法やリズムからなるアンサンブルを、目で見て、耳で聴いて、音の振動を体で感じてください。

どこか懐かしい日本の郷土の音をどうぞ、お楽しみください。

和太鼓の歴史

では、「和太鼓」はいつ誕生したのでしょうか？

その歴史は古く、縄文時代（今から約2万5千年前）から、土器を作り、狩や漁をして暮らしていた時代）のころから日本に存在したと言われています。

縄文時代～古墳時代には、お祈りや情報伝達の手段として和太鼓が使われていたと考えられています。実際に、長野県の遺跡からは、動物の皮を張って太鼓として使用されていたと考えられる土器が見つかっています。

聖徳太子が活躍した飛鳥時代には、「時」を知らせる道具として使われていました。

聖徳太子によって日本に伝わった「雅楽」という日本の音楽が、民族たちによって日本の伝統的な文化が育まれた奈良時代には、「雅楽」という日本の音楽の中で使われるようになりました。さらに、その音量の大きさから、戦での情報伝達や勝敗を鼓舞する「陣太鼓」としても使われ始めました。

その後、室町時代には「能楽」、江戸時代には「歌舞伎」、「良寛」などの古典芸能の中で使われるようになります。また、時を知らせる時報や相撲や芝居、お祭りの音楽である祭囃子や盆踊りなど、人々の生活の様々な場面で、和太鼓が使われるようになりました。

歴史を振り返ってみると、和太鼓は日本の歴史と密接に結びつきながら、発展してきたことが分かります。

1 長胴太鼓

神社やお寺で使われていたことから、「宮太鼓」とも言われます。胴には、ケヤキなどの堅く強度のある木が使われています。一本の木をくり抜いたものではなく、杉・ヒノキなどの細い板を重ね合わせてできています。胴の両面に、金属のフレームで張った皮をロープなどで引き伸ばして、音の高さを調整します。

2 桶胴太鼓

お風呂の桶や味噌樽のような作りから「桶胴太鼓」と言われます。胴の作りは、一本の木をくり抜いたものではなく、杉・ヒノキなどの細い板を重ね合わせてできています。胴の両面に、金属のフレームで張った皮をロープなどで引き伸ばして、音の高さを調整します。

3 附錠太鼓

長胴太鼓と同様にケヤキなどの木をくり抜いた胴の両側に鉄輪に張った革をロープやボルトを使って、強く締め上げています。甲高い音が鳴ることが特徴です。

4 チャッパ

日本のお祭りや神具として使われる伝統的な金属性の楽器です。高い音が出るので、楽曲にアクセントを加えることができます。また、奏法の変化による音の違いをお楽しみください。

5 箫笛・能管

日本の伝統的な横笛です。竹に穴を開けた簡単な作りをしています。また、能管は、「ノド」と呼ばれる竹製の筒が中に入っており、独特な音色が生まれ出されます。和太鼓と合わせて演奏されることが多く、旋律を奏できます。

【令和8年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業－ユニバーサル公演－実施条件等確認書（No.1）】

ID *	UNI8_12	企画名	見て、聴いて、感じる、みんなで奏でる「和太鼓」の芸術鑑賞会		
制作団体名	一般社団法人 音楽芸術協会		公演団体名	和太鼓グループ彩 -sai- with 山中裕貴	

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等					応相談		
控室について	必要数 *	1室	条件					
前日仕込みについて *	なし	補足						
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2t トラック	2台			
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ							
	搬入車両の横づけの要否 *			不要				
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	搬入経路の最低条件							
	理由							
	設置階の制限 *			問わない				
	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
	舞台設置場所 *		体育館のステージ上					
会場設営について	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	奥行		高さ			
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			
		舞台袖スペースの条件 *						
		緞帳 *	不要	バトン *	要			
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由				
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は 経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。			
	ピアノの事前調律 *		不要					
	フロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	公演に必要な電源容量		1W	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項					応相談		

②会場図面(表記単位: メートル)

搬入間口について	幅	2	高さ	2
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

